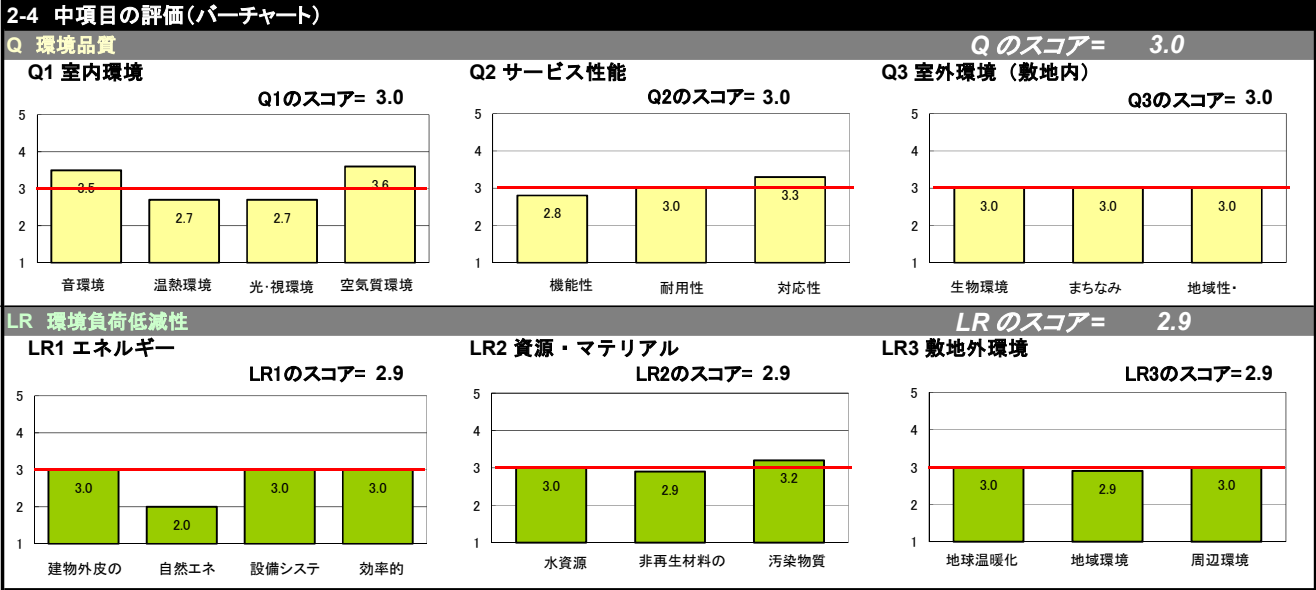
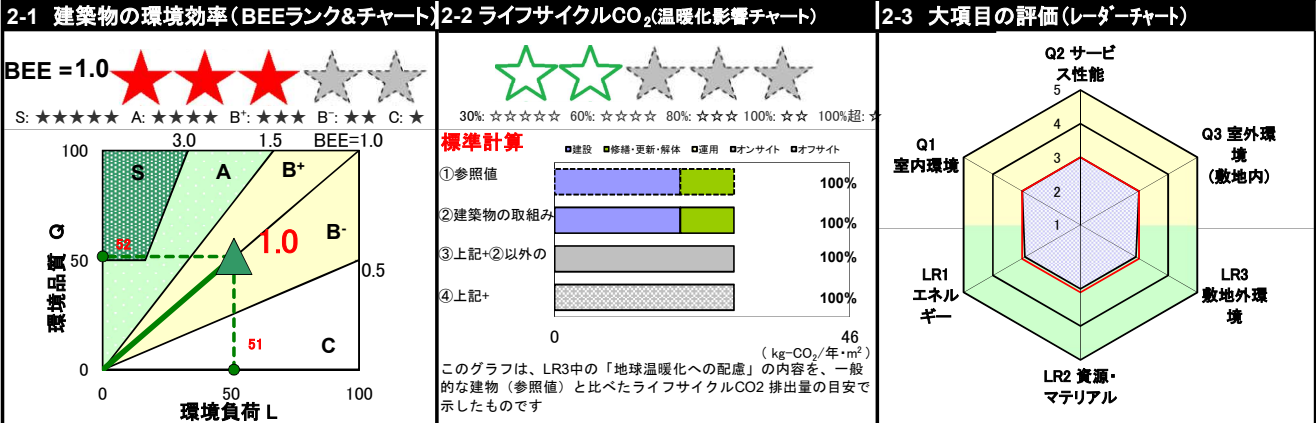


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称		階数	地上23F
建設地	福岡県福岡市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	520 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2024年5月1日
敷地面積	3,035 m ²	作成者	横井広一
建築面積	1,234 m ²	確認日	2024年5月1日
延床面積	22,337 m ²	確認者	森啓充



3 設計上の配慮事項		
総合	高い外皮性能を計画し、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	その他 特になし。
Q1 室内環境	省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。
Q3 室外環境 (敷地内)	敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。	
LR1 エネルギー	適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。 また、OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される